

お知らせ

平成20年4月15日

『ハイツカ湖で外来魚の繁殖を抑制』

～ダム貯水池の水位を下げて外来魚の卵を駆除します！！～

^{はいづか}灰塚ダム管理支所では、昨年に引き続き今年も、ダム貯水池（ハイツカ湖）の水位を下げて、外来魚（オオクチバス、ブルーギル）の繁殖抑制の対策を行います。



【お問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所 灰塚ダム管理支所

（電話）0824-44-4360

灰塚ダム管理支所長 ^{いまおか} 今岡 ^{としかず} 俊和

1. 外来魚(オオクチバス及びブルーギル)の繁殖抑制対策の概要

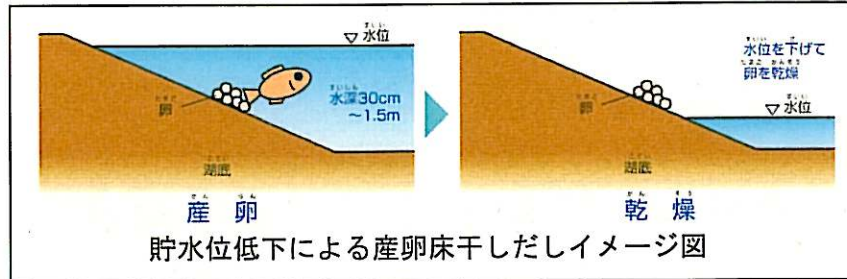
◆ 外来魚の習性を利用した対策

外来魚は、水深2.0mよりも浅い所に産卵する習性があります。

よって、ダム貯水位を下げ、産卵した場所を乾燥させるなどして卵を駆除する対策です。

★新たな取り組み★

昨年度産卵が確認された4月～6月の期間で、数回の貯水位低下を試行します。

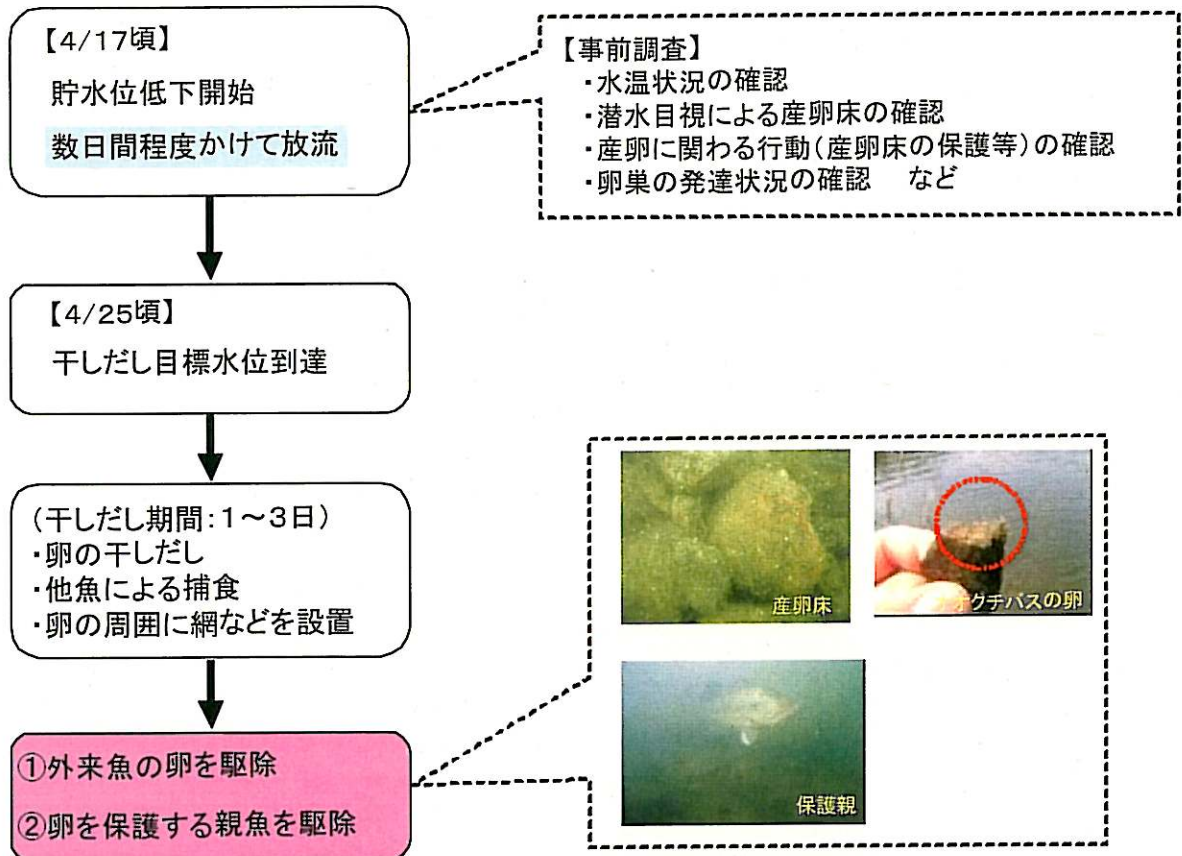


◆ 貯水位低下の予定

灰塚ダムでは、水位低下を始める4月中旬頃から、ハイヅカ湖における外来魚の産卵生態状況調査を開始する予定です。その結果、産卵が確認された後、ダム下流河川に配慮しながらゆっくりと貯水位を低下させて産卵床の干しだしを行うものです。

また、水温・水位・産卵状況等を確認しながら、ゴールデンウィーク以降についても貯水位低下を行い、繁殖抑制を行っていきます。

※気象状況等により日程が変更となる場合があります。



貯水位低下による産卵床干し出しフロー

◆ その他の外来魚対策

○流下防止対策

ダム貯水池内に目の細かい網を張り、出水時などにダムから下流に外来魚が流下することを防いでいます。

○リリース禁止の啓発活動

平成 19 年 3 月 26 日広島県内水面漁場管理委員会の指示により、ブラックバス(オオクチバス・コクチバス)およびブルーギルの再放流(リリース)が禁止されました。

(平成 20 年 3 月 25 日に 1 年間延長指示あり)

灰塚ダムでは、釣り人などのダム利用者へリリース禁止について協力して頂けるようパンフレットの配布や外来魚回収ボックスを設置するなどの啓発活動を行っています。



「ハイヅカ湖利用ポケットブック」



外来魚回収ボックス(オノ峠広場へ設置)

○人口産卵床の設置

水深の浅い所にある砂礫(小石)に産卵する習性を利用し、貯水位の浅いエリアに人工産卵床を設置して、貯水位を低下させたり引き揚げるなどして、産卵床を乾燥させて卵を駆除するものです。



★新たな取り組み★

対策効果が高い可能性のある、「浮き産卵床」(湖底ではなく、水面に浮かべる産卵床)を試行する予定です。

◆ 平成19年度の干し出し効果について



確認地点：【杉谷川合流部】
 効果確認状況：
 ・ブルーギル産卵床の干し出し
 ・オオクチバス産卵床の干し出し
 ・卵は乾燥・死滅
 （水中部は覆土により駆除）

産卵床材料：砂、泥、枯れ木
 産卵床直径：約25cm

水位低下後

干し出し状況

水位低下前：水深約40cm



確認地点：【大谷】
 効果確認状況：
 ・ブルーギル産卵床の干し出し
 ・卵は覆土により駆除

産卵床材料：泥、枯れ木
 産卵床直径：約20cm

水位低下後

干し出し状況



確認地点：【上下川田段川合流部】
 効果確認状況：
 ・ブルーギル産卵床の干し出し
 ・卵は乾燥・死滅

産卵床材料：砂礫、泥、枯れ木
 産卵床直径：約20cm

水位低下後

干し出し状況



○オオクチバスの産卵床27箇所、ブルーギルの産卵床458箇所
 の駆除に成功しました。
 ○親魚の産卵床保護の放棄や他魚種による卵の捕食も
 確認されました。
 ○オオクチバスの産卵床は水深が100～150cm前後で
 多く確認されました。
 ○ブルーギルの産卵床は水深50～100cm前後で
 多く確認されました。
 ○コイやフナ類の産卵への影響など、他の生物への影響は
 確認されませんでした。

凡例

- サーチャージ水位
- 水深2m以深範囲
- 水深2m以浅範囲（産卵適地）
- ダム堤（灰塚ダム、知和堰堤、川井堰堤）
- オオクチバス産卵床（水中駆除）
- オオクチバス産卵床（干し出し駆除）
- ブルーギル産卵床（水中駆除）
- ブルーギル産卵床（干し出し駆除）

